

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

* 井上四郎氏の遺品 最新科学講座第1回配本の寄贈

今まで非常に貴重な資料を提供くださった、元東京天文台職員井上四郎氏のご遺族のお孫さんから、今回も非常に珍しいものをアーカイブ室にご寄贈いただいた。

今回ご寄贈いただいたのは、

- 1) 書籍「最新科学講座 1」
- 2) 活動鏡(立体鏡) 及びその写真 23枚
- 3) 非常に珍しい容器に入った棹秤

である。今回はそのうち、1)の書籍「最新科学講座 第1回配本」を紹介しよう。先ずは、写真1をご覧ください。大正15年9月24日発行である。

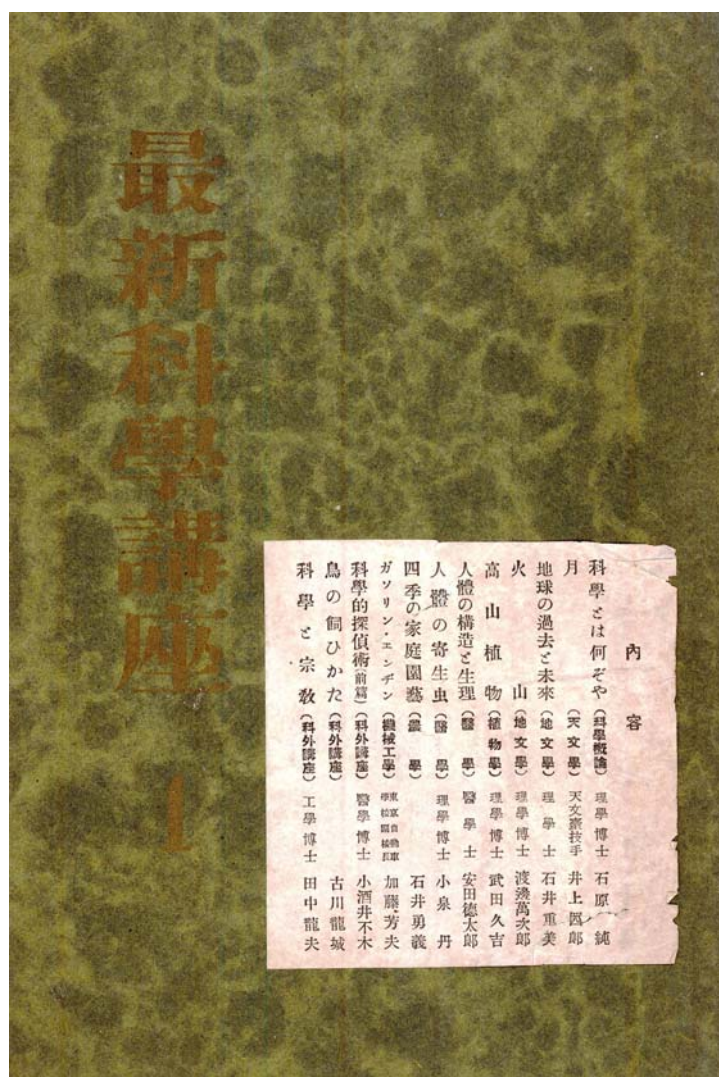


写真1 最新科学講座 1

残念ながら、最新科学講座であるが、第1回配本分しかない。この講座は、「開講にあたりて」に「最新科学講座は、科学全般にわたり、文明人として知らねばならぬ、最新の知識を1か年の間に授くるを目的として企てられた」と書かれており、編集者は、先ず純正応用両方面の科学を約90科目に分ち、それらを、それぞれ当代の権威ある専門家に分担して執筆していただき、更に、それらを統一し、順序良く配列して、毎月10科目ぐらいつつ掲載した書物を1冊ずつ配布するとある。筆者はこの講座全てを読みたいが、井上四郎のご遺族からいただいたものは、その第1回配本のみである。その内容は、

- 1) 科学とは何ぞや (前編) 「科学概論」
- 2) 月 「天文学」
- 3) 地球の過去と未来 (未完) 「地文学」
- 4) 火山 「地文学」
- 5) 高山植物 (未完) 「植物学」
- 6) 人体の寄生虫 (1) 「医学」
- 7) 人体の構造と生理 (未完) 「医学」
- 8) 四季の家庭園芸 (秋の部) 「農学」
- 9) ガソリン・エンジン (未完) 「機械工学」
- 1 0) 科学的探偵術 (前編) 「科外講座」
- 1 1) 鳥の飼いかた 「科外講座」
- 1 2) 科学と宗教 (1) 「科外講座」

これらの章、すべて興味深いが、天文学に関係した章は、2) 月、3) 地球の過去と未来(未完)である。

「月」の著者は、東京天文台技手 天文台職員井上四郎が執筆しており、章立ては

- 1) 月は沢山の従兄弟を持つ
- 2) 月の運動
- 3) 5種の1ヶ月
- 4) 月の自転と地球から見る月
- 5) なぜ月は同じ半面を地球に向けるようになったか
- 6) 月の距離と大きさ
- 7) 月の光
- 8) 望遠鏡で見た月
- 9) 月の噴火口
- 1 0) 月面の大亀裂
- 1 1) 不思議な白條紋
- 1 2) 大平原
- 1 3) 月の温度
- 1 4) 月面の現象

この章に、別刷図版がついており、

1) 月の北極附近 (写真銅版) (写真2)、2) 月の南極付近がある (写真3)。



写真2 月の北極附近



写真3 月の南極附近

「地球の過去と未来」 (未完) 「地文学」は理学博士 石井重美が執筆している。章立ては、

1. 地球の進化
 - 1) 地球の生成
 - 2) 密雲と雷嵐
 - 3) 眩い反射と夥しい流星
 - 4) 原始的な地殻と熱湯の雨
 - 5) 最初の海
 - 6) 太陽の地表直射とその影響
 - 7) 地殻と地火との闘争
 - 8) 水陸分布
 - 9) 侵食と沈殿
 - 10) 岩球と地球中心
2. 生命の起源
 - 1) 2種類の学説
 - 2) コスモゾア説の支持者

これらを読みたい気になるが、この章にはカラーの惑星誕生の絵（写真4）がある。



写真4 惑星誕生の図

なかなか興味深い内容である。国立天文台の蔵書に加えていただく予定。